

「里山セラピー」の提供を通じた 里山の再生事業

活動地域  宮城県伊具郡丸森町

つづける助成
3年目
実践

住民の里山再生利活用の再生度	40%
ワークショップ実施回数	5回
今年度計画の達成度	40%
目標達成度	30%



台風19号の被災地域の大地の再生講座

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

昨年10月の台風19号により水路が被害を受け、田んぼ0.15haが冠水被害を受けた。残った里地・里山を整備していくことを決意し、大地の再生講座を開講した。

■ 工夫した点

残った里山、里地で11月に2日間「大地の再生講座」を開講し、全国から24人の参加者があり、災害復興を兼ね今後の里地、里山づくりの指導を受けた。

課題

宮城県丸森町において、東日本大震災以降に里山と日常生活の距離が離れるようになったことから、里山に人が入らなくなり里地・里山（耕作放棄地）の荒廃が進んでいる。

目標

荒廃している丸森町の里山を再生し、様々な生きものが存在するようになり丸森町の住民が継続的に里地・里山の保全活動に関わるようになる。

活動内容と成果

耕作放棄地の解消及び整備された里山を作り癒しの空間を作るために、里地・里山の整備や季節ごとの里山の特色をいかした体験型ワークショップを実施してきたが、台風19号の被害を受けた。災害復旧も兼ねて「大地の再生講座」を実施し、今回の災害のメカニズムである森林の管理に注目したが、伐採、伐倒した木材を放置、または自然枯渇した木材も放置、山全体を伐採してしまった管理の仕方、全て人が行ってきた結果であることがわかった。



台風19号の被災地域の大地の再生講座



里地で田植え、生きもの観察を行った

全助成期間の活動を振り返って

耕作放棄地の解消及び整備された里山を作り癒しの空間を作る夢をもって進めてきたが、昨年10月の台風19号の被害で田んぼ0.15haが冠水被害を受けた。そのような状況の中でも活動を続け、荒廃している里山や里地（耕作放棄地）の内8,250㎡を削減した。また、2017年3月と比較して植物が10種類、昆虫が10種類増加した。

〒981-2171
宮城県伊具郡丸森町字船場32-6
電話：0224-72-2488
E-mail：miyagiken-npo.2013@gmail.com



今後の展望

荒廃している丸森町の里山を再生し、様々な生きものが存在するようになって丸森町の住民が継続的に里地・里山の保全活動に関わるようになり、里山が再生されていく中で癒し（セラピー）を提供できる里山を築く。また今回の災害から、自然と対峙してこなかったことが起こした被害であることを認識し、このような被害に遭わないために情報発信をしながら今後の里山づくりにいかしていきたい。